

都市再生整備計画 事後評価シート

佐野駅周辺地区(第二期)

平成31年3月

栃木県佐野市

※記入にあたっての留意事項（このページは、提出の際には添付する必要はありません。）

本様式の記入にあたって、下記の点に留意してください。

1. モニタリング（一部の結果）・事後評価・フォローアップの3段階について、記入欄を色分けで区分しています。それぞれの結果を該当欄に記入してください。

段 階	内 容	時 期	記入欄の 色分け
《第一段階》 モニタリング	事業期間中に、実施状況、数値目標の達成状況、効果発現の状況を確認する	交付期間中の任意の時期	
《第二段階》 事後評価	評価項目の計測（見込みの値でも可）、効果発現に関わる要因、今後のまちづくり方策等を整理する	最終年度	
《第三段階》 フォローアップ	事後評価時に「見込みの値」としたものに対して、事業終了後に、確定した数値で再度整理する	原則、交付終了の翌年度	

2. 記入項目の詳細や記入例については「事後評価シート作成の手引き」を参照してください。
3. 記入欄が不足する場合には、適宜、欄（枠）を拡張するなどして記入して下さい。
4. 国への提出後、必要に応じて再提出等のために修正を行う場合は、従前の記載内容は削除せず、消し線を用いて下さい。

例1) 数値等の軽微な修正

【修正前】 ○○整備事業 面積 2,300㎡

【修正後】 2,800㎡

例2) 文章の修正

【修正前】 ・ ・ ・するものとし、特に、●●館のイベント等に関する情報を発信していくものとする。

【修正後】 特に、●●館のイベント等に関する最新情報をリアルタイムでHP上から提供していくものとする。

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県		市町村名	佐野市		地区名	佐野駅周辺地区(第二期)			面積	146ha		
交付期間	平成24年～平成28年		事後評価実施時期	平成30年度		交付対象事業費	1130.3	国費率	40.0%				
1) 事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(市道佐野53号線歩道改良・舗装改修、市道1級1号線歩道整備・道路拡幅)										
		提案事業	花のあるまちづくり事業、空き店舗活用にぎわい支援事業、にぎわい創出活動支援事業										
	当初計画から削除した事業	基幹事業											
		提案事業											
新たに追加した事業	基幹事業	公園((仮称)駅南公園) 地域生活基盤施設((仮称)S-Platz広場、駐車場)			まちなかの魅力向上と居住推進を図るため追加する。 回遊する市民の憩いの場としての広場、駐車場を整備するため追加する。 駐車場については近接する新庁舎の駐車場を拡張したとともに休日に関しては無料開放を行っていることから、当初の目的は達成できたと考え、事業は未執行である。			事業の追加により、佐野駅周辺地区の生活環境の満足度の指標に影響があるが、目標及び指標は据え置く。					
交付期間の変更	当初	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									変更		
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	佐野駅周辺地区の生活環境の満足度	%	53.5	H22	58.0	H28	モニタリング	評価値	△	あり	● アンケートの内容に変更があったため、平成28年度の数値を評価値とした。計画完了前に目標まで「-0.1」のため、計画完了後は目標値を達成することが想定できる。評価値測定時点では目標には達していないが、道路、歩道、公園の整備等住環境の改善は図られ、一定の効果が上がったと考えられる。	-
											なし		
	指標2	佐野駅周辺地区人口の減少率(前年比)	%	△ 1.5	H23	△ 1.3	H28	モニタリング	評価値	○	あり	自然減による人口減少はあるものの、道路・公園の整備、新庁舎建設により施設が整備され環境整備の効果が人口減少率(前年比)に歯止めをかけた。	-
											なし		
	指標3	佐野駅周辺地区の空き店舗率	%	15.0	H22	13.0	H28	モニタリング	評価値	×	あり	● 既存商業者の閉店や店舗の老朽化により空き店舗率は増加し目標を達成することができなかったが、空き店舗活用にぎわい支援事業により新規商業者の出店数が増加し一定の効果も上げた。	平成32年3月
なし													
指標4										あり			
指標5										あり			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	佐野駅周辺地区の歩行者自転車通行量調査(休日)	人	4,076	H23	/		モニタリング	評価値	/	/	道路、歩道の整備により、歩行者空間の安全性が確保されたことや、空き店舗活用にぎわい支援事業、にぎわい創出活動支援事業の効果及び新庁舎建設に伴う駐車場拡張により、佐野駅周辺地区の徒歩による回遊性の向上が、増加につながった。	-
						/							
	その他の数値指標2	佐野駅周辺地区イベント開催数	回	60	H23	/		モニタリング	評価値	/	/	イベント開催に係る補助金により集客力のあるイベントが可能となったこと、及び新庁舎建設に伴う駐車場拡張により庁舎や駅を中心としたイベントの開催が容易になったことが、増加につながった。	-
その他の数値指標3	佐野駅の1日利用者数	人	9,565	H23	/		モニタリング	評価値	/	/	イベント開催及び歩道整備による回遊性の向上及び総合的な取り組みが佐野駅前の魅力の底上げに貢献し、増加につながった。	-	
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路整備により、交通の安全性が確保された。</li> <li>公園及び地域生活基盤施設の整備により、憩いの場として地域コミュニティの活性化につながった。</li> <li>空き店舗活用にぎわい支援事業による新規出店店舗への来店及びにぎわい創出活動支援事業によるイベントへの来場を契機に、まちなかを訪れる回数が増加し親近感を促進させた。</li> <li>以前に比べまちなかのラーメン店に行列ができるように感じるという声を多く聞くようになり、店舗努力の他に都市再生整備計画のメニューにより、まちなか全体の魅力の底上げの表れではないかと考えられる。</li> <li>「ババと呼ばれる20代～40代の男性有志を中心に、市の新たな魅力を発見しPRを行う佐野ババプロジェクト事業が開始された。このような、ラーメン、いもフライに続く第3の佐野名物を目指し「黒から揚げ」を考案する団体が現れるなど、佐野市全体にまちおこしの気運が高まっている。</li> <li>「スポーツ/クリケット」によるまちづくりを通じ、インバウンド誘客及びムスリムに対応する店舗がでるなど受け入れ態勢が整いつつあり、佐野市全体にまちおこしの気運が高まっている。</li> <li>平成25年に市ブランドキャラクター「さのまる」がゆるキャラグランプリを獲得したことにより226億円の経済波及効果(H25.11～H26.10) *があり、グッズ等販売ショップへの来客及びイベントの注目の高まりなどを通じ、まちなかに対する関心が高まった。(*「佐野ブランドキャラクター「さのまる」の経済波及効果」より)</li> </ul>												
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	-				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	-				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
持続的なまちづくり体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちなか活性化推進協議会とともにまちづくり会社について調査研究を行うとともに「さのまちづくり株式会社(仮称)設立発起人会」の事務局を行った。</li> </ul>												
											●	中心市街地活性化を推進するために、官民連携事業を推進していく。	



様式2-2 地区の概要

佐野駅周辺地区(第二期)(栃木県佐野市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
	目標1 佐野市の顔として誇れるシンボル軸の形成 目標2 「居住・生活空間」と「創造・感動空間」の形成による魅力あるまちなかの再生	佐野駅周辺地区の生活環境の満足度	単位:%	53.5 H22	58.0 H28
佐野駅周辺地区人口の減少率(前年比)		単位:%	△ 1.5 H23	△ 1.3 H28	△ 0.7 H29
佐野駅周辺地区の空き店舗率		単位:%	15.0 H22	13.0 H28	28.1 H29
佐野駅周辺地区の歩行者自転車通行量調査(休日)		単位:人	4,076 H23	H	4,511 H29
佐野駅周辺地区イベント開催数		単位:回	60.0 H23	H	100 H29
佐野駅の1日利用者数		単位:人	9,565 H23	H	10,697 H29

まちの課題の変化

・道路、広場が整備されたことにより、佐野市の顔として誇れるシンボル軸の形成、安全な歩行者空間の確保及び回遊性の向上が図られた。しかし道路「市道1級1号線歩道整備・道路拡幅」については一部未整備区間があるため、継続した整備が必要である。  
 ・(仮称)S-Platz広場の駐車場が未整備であるが、近接する新庁舎の駐車場を拡張したとともに休日に関しては無料開放を行っていることから、当初の目的は達成できたと考えられる。  
 ・道路、公園、広場の整備、また地域創造支援事業によるまちなかの活性化が図られたことにより、魅力あるまちづくりの礎を築くことができたが、住居一体型店舗により利活用が難しいことや店舗の老朽化及び後継者不足などにより、空き店舗が増加している。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

【市道1級1号線の推進】佐野市の顔として誇れる南北シンボル軸のさらなる形成及び来訪者が快適かつ安全に歩行できる歩道の整備を進めていく。  
 【にぎわい空間の利用促進】市民の憩いの場を提供するとともに、拠点施設と連携し利用の促進を図る。  
 【空き店舗の減少】空き店舗活用にごわい支援事業について、積極的なPRにより利用の推進を図り、空き店舗の減少を図る。  
 【佐野駅周辺地区の生活環境の満足度】道路整備及び支援事業等引き続き必要な整備を進め、まちなか全体の魅力を向上させ再生を図る。  
 【道路拡幅等による空き地の増加】魅力的なにぎわいのあるまちなかを形成するため、道路整備等に伴う残地の利活用などの相談業務等を実施し、空き地の有効活用を促すことによりにぎわいの喪失防止を図る。